

# 関西のインフラ強化を 進めるために

## 第8回 シンポジウム

—日本のリーディングエリアとするために—

我が国政府は財政のプライマリーバランスが最重要であるとしてインフラ整備への公共投資を大幅に削減し続け、その結果、長期に亘りデフレが進行しています。インフラ投資の首都圏一極集中に伴う弊害とリスクの大きさを考えると、日本没落を防止するためにも、地方振興と社会インフラ整備計画の立て直しを図り、公共投資を日本全国に拡大することが合理的な政策と言えます。

さらには、新型コロナウイルス感染拡大の影響により低迷した日本経済を再生するためには、ポストコロナの新しい生活様式の構築と経済成長を支えるインフラ整備を加速させる必要があります。

本シンポジウムは、強靱で立派な国土造りの推進、複眼型国土構造の実現に向け、それに必要な社会インフラ整備や仕組み等について活発に議論する場として開催するものです。

テーマ

**「防災・減災、国土強靱化、  
さらにはポストコロナの日本経済再生を担う  
社会インフラ整備の在り方について」**

プログラム

2020年

10月22日(木)

13:00～15:00

会場:

マイドームおおさか

建設技術展会場 3階 多目的ホール

13:00～13:05 開会挨拶 谷本 光司 一般社団法人近畿建設協会 理事長

13:05～13:35 基調講演「**防災・減災、国土強靱化、さらにはポストコロナの  
日本経済再生を担う社会インフラ整備の在り方について**」  
山田 邦博氏 国土交通省 技監

13:35～14:05 基調講演「**令和元年 東日本台風での災害対応 ～私が福島で経験したこと～**」  
溝口 宏樹氏 国土交通省 近畿地方整備局長

14:05～15:00 パネルディスカッション「**4つの視点から考える西日本主導の国土強靱化**」  
視点1: 日本とアジアのゲートウェイとしての関西圏の潜在力とその開発のための取り組み  
視点2: スーパー・メガリージョンの中核としての関西圏の機能的役割  
視点3: 将来を見据えた堅固なインフラ整備のための西日本連携の在り方  
— 複合災害と高齢化社会の克服と未来社会の創造に向けた今後の取り組み —  
視点4: 西日本主導による複眼型の国土構造実現  
— 首都圏の代替機能を担うための西日本連携の在り方 —

コーディネーター 小林 潔司氏 京都大学 経営管理大学院 特任教授/土木学会 元会長

パネリスト 谷口 博昭氏 建設業技術者センター 理事長/土木学会 次期会長

山田 邦博氏 国土交通省 技監

# 出演者プロフィール

## 基調講演者



### 山田 邦博 氏

国土交通省 技監

1984年 東京大学大学院工学系研究科修了、建設省（現 国土交通省）入省。  
関東地方整備局河川部長、国土交通省水管理・国土保全局治水課長、大臣官房技術審議官、  
近畿地方整備局長、水管理・国土保全局局長、内閣官房内閣審議官（国土強靱化推進室次長）  
を歴任。2019年7月9日付で現職。



### 溝口 宏樹 氏

国土交通省 近畿地方整備局長

1988年 京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了、建設省（現 国土交通省）入省。  
胆沢ダム工事事務所長、水管理・国土保全局流水管理室長、愛媛県土木部技術監、内閣府（原  
子力防災）参事官（総括）、水管理・国土保全局水資源計画課長、水資源部長などを経て、  
2020年7月より現職。

## コーディネーター



### 小林 潔司 氏

京都大学 経営管理大学院 特任教授／土木学会 元会長

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士。  
京都大学助手、鳥取大学助教授、教授、京都大学大学院工学研究科教授、同経営管理大学院長、  
同経営研究センター長を経て京都大学名誉教授。土木学会元会長。現在、グローバルビジネス  
学会理事長、日本アセットマネジメント協会会長。

## パネリスト



### 谷口 博昭 氏

建設業技術者センター 理事長／土木学会 次期会長

1972年 東京大学工学部土木工学科卒業、建設省（現 国土交通省）入省。  
近畿地方整備局長、道路局長、技監、事務次官を歴任。2010年8月の退官後、芝浦工業大学  
大学院で教壇に立つなど次代を担う技術者の育成にも取り組む。